

「花育」理解し保育士に

川崎医福大で体験教室

敷
倉

子どもが花や緑に親しむことで豊かな感性を育む「花育」について理解を深めようと、川崎医療福祉大（倉敷市松島）などは12日、保育士や幼稚園教諭を目指す子ども医療福祉学科1年生



花育について学ぶ一環で、フラワーアレンジメントに取り組む学生

が対象に体験教室を開いた。構内を会場に学生37人が参加。日本フラワーデザイナー協会支部の会員10人に指導を受けながらフラワーアレンジメントに挑戦し、サツマシギや松ぼっくり、バラを組み合わせて高さ30センチほどの「ミニクリスマスツリー」を1人1点ずつ仕上げた。

この後、花育に関する座学もあった。保育士に

なりたいという村田花梨さん(18)は「花や木の香りを感じて新鮮だった。保育現場に出たら、子どもたちが自然に触れられる機会を大事にしたい」と話した。

花育は、県や花き生産団体などでつくる「県花き消費拡大実行委員会」が教育現場や地域に広めようと推進している。(三川創)